

<p>1 部の 目的</p>	<p>すべての市民、団体等との連携を強化して防災力の底上げを図り、市民の幸福実現に不可欠な地域の安全安心を確保する。合わせて養父市を訪れる人々すべての安全安心の確保にも配慮する</p> <p>積極的に行政情報を発信し、情報化社会に相応しい質の高い市民サービスを提供する。行政ネットワークを適正に維持管理し、安定的な行政事務執行環境を確保する</p>
	<p>【令和3年度の実績】</p> <p>[防災]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練参加者数：15,000人／7,147人 未達 ・出前講座：20回／8回 未達 ・市職員を対象に防災研修及び訓練の実施 5回／3回 未達 ・知識習得研修の受講：10回／10回 達成 ・各種計画及びマニュアルの更新 市地域防災計画・避難所運営マニュアル <p>[情報]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主放送番組での企画の本数 R3:54本以上／5本 未達 ・広報コンクールでの入選／映像部門「企画賞」 ・ページビュー/セッション R2:1,969千/620千 / 2,643千/870千 ・イントラ依頼対応件数 300件以内／250件 <p>【評価】</p> <p>部の評価項目9項目のうち、5項目を達成、4項目で未達成であった</p> <p>【原因】</p> <p>職員の知識習得研修と市地域防災計画、避難所運営マニュアルの更新等は予定通り達成した</p> <p>(コロナ禍の影響)</p> <p>避難訓練や出前講座等の市民参加型事業については、依然として感染拡大防止を優先せざるを得ず中止や規模縮小を余儀なくされた。番組企画においても、市内の行事やイベント等の多くが中止もしくは規模縮小開催となり、取材活動自体が制限される状況であった</p> <p>【対応】</p> <p>市民参加が不可欠な事業については、コロナ禍の状況を勘案して実現可能な数値に見直しが必要である。市職員対象の研修や訓練についてはジャンルを拡大するなどして目標達成を目指す必要がある</p> <p>コロナの感染状況にもよるが、自主放送番組の企画本数については新たなソースの発掘に努める。広報コンクールで広報紙部門での入選を目指す</p>

<p>2 部を 取り 巻く 状況</p>	<p>〔防災〕</p> <p>【評価】 市民の防災への関心度は向上傾向にあるものの、依然として、避難情報に対する指定緊急避難場所等への避難率が向上しない（正常性のバイアス）。引き続き、区長会、自治協等へ“早期避難を躊躇わない”“空振りオーケー”の働きかけを強化しなければならない</p> <p>【機会】 毎年9月に実施する一斉避難訓練は定着しているが、コロナ禍で訓練規模や参加者が減少している。withコロナ、afterコロナの視点を取り入れた訓練を工夫する必要がある</p> <p>【強み】 指定緊急避難場所等開設等に関する各区長の理解度が高い。引き続き良好な協力体制を維持、発展させる</p> <p>〔情報〕</p> <p>【評価】－</p> <p>【機会】CATA、HP、YouTube、広報紙等など様々なメディアでの情報発信が日常として行われている</p> <p>【強み】ケーブルテレビジョン番組の制作についてのノウハウと経験が豊富である。YouTube等のインターネットへの情報発信にも積極的に取り組む姿勢がある</p>
<p>3 部の 解決 すべき課 題</p>	<p>(外部要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域防災力の中核である消防団員の確保 ・ 児童生徒への防災教育の普及促進 ・ 災害初期の早期避難行動意識の醸成 ・ 行政のデジタル化の伴う市民サービス業務の改善 ・ コロナ禍だからこそ、市民が必要とする情報を正確かつ迅速に届ける <p>(内部要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の情報共有とチームワークの強化 ・ デジタルファースト課との協同（自治体DX推進への対応とセキュリティを含めた情報基盤の更新） ・ 高い専門性（技術）が不可欠な業務に従事する職員の重層化
<p>4 部の 経営 体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 所管課：防災安全課、情報課 ・ 人員：防災安全課4人、情報課8人（職員5人、その他3人） ・ 予算：部総予算 326,260千円（防：249,180千円 情：77,080千円）

<p>5 部の 経営 目標</p>	<p>[防災]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一斉避難訓練への参加者数の増加：10,000人 ・出前講座の実施：15回 ・職員防災研修及び訓練の実施：4回 ・知識習得研修の受講：10回 <p>[情報]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主放送番組での企画の本数 50本以上 ・広報コンクールでの入選 ・ページビュー/セッション 3,000,000/1,000,000 ・イントラ依頼対応件数 250件以内
-------------------------------	---

<p>6 部の 経営 方針</p>	<p>【市民】 自助・公助が機能する地域造りに貢献する 市民が必要とする情報を正確かつ迅速に届ける</p> <p>【経営】 災害時等の職員初動体制の強化と積極的な行政情報の発信する</p> <p>【政策】 防災対策における独自性強化による市民評価の向上を目指す CATVならびに市内ネットワークの正常稼働の維持と更新を行う</p> <p>【協働】 市民と協働し、地域防災力の底上げを図る</p> <p>【人材】 職員個々の実務能力を高め、担当業務の重層化を図る</p> <p>【改善】 より効果的な情報発信により、行政情報の市民周知度を向上させる</p> <p>【財政】 計画的な特定財源確保の徹底を図る</p>
-------------------------------	--

<p>7 部の 重要 政策 の取 組内 容</p>	<p>[防災]</p> <p>【継続】 消防団員処遇改善の継続的な検討</p> <p>【維持】 「一斉避難訓練」 目標／参加者：10,000人 コロナ禍が収束した場合は、目標値を上方修正する</p> <p>【強化】 新入消防団員の確保 市民の早期避難行動意識を高める</p> <p>【改良】 withコロナ、afterコロナを見据えた取り組み（訓練・出前講座）</p> <p>【廃止】 なし</p> <p>[情報]</p> <p>【新規】 情報処理関連ハード機器、設備の更新 自主放送関連機器の更新 安定した放送を行うため、老朽化した機器の更新 番組送出サーバの更新、光送受信設備の更新</p> <p>【強化】 デジタルファースト課との連携（自治体DX推進） ・市役所内の情報基盤更新について検討を行う</p> <p>【改良】 情報発信における複数媒体の連携と活用 ・CATV、HP、SNS、広報紙等の有効な情報発信の検討</p> <p>【廃止】 特になし</p>
---	--

<p>8 部の 経営 の仕 組み に関 する 取組 内容</p>	<p>【政策】 更なる防災意識の高揚を図るため、あらゆるツールと方法を駆使し、成果を導く方法を模索して市民周知活動に努める</p> <p>【業務】 月に2回、両課内会議を開催し、業務進捗状況の確認、実施方法や業務改善内容を確認する 市役所内外の情報収集に努め、市民が必要とする情報が正確かつ迅速に発信できるようにする</p> <p>【能力】 業務知識研修等により職員個々の能力向上を図る 少数の職員に依存している専門性の高い業務のサブ職員を育成する</p> <p>【情報】 各課内職員の情報共有を徹底したうえで、両課の課長連携を深める</p>
--	---